

# 町民まちづくり提案書 41

令和元年10月31日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所  
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	景観を守るための補償事業
2 提案の理由	美瑛町内には何か所か、景観のために守られている「木」等があり、その持ち主には補償額があるが、隣接する畑の持ち主等には何も補償されていない。「木」には景観が壊れ、支障をきたしている場合等にも補償すべき。
3 事業の実施期間	
4 事業の実施場所	景観のため守られている「木」等に隣接する畑等
5 事業の予算額	
6 事業の内容	景観のため守られている「木」等の持ち主と同等の補償額まで。でも実際の日当たり等、調査した上、持ち主でない隣接する側の畑の持ち主の方が被害(影になる時間が長いなど)が大きい場合も考えられるので要検討。
7 事業の効果	景観を守るためには、農家への配慮を忘れることは町民が「いる事が大事で、町も農家が景観や観光客のために困っていないかをより把握できるようにします。

# 町民まちづくり提案書 42

令和元年10月31日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所  
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	高校へ通り 子どもたちすべてに支援
2 提案の理由	美瑛町民の高校生の中には美瑛高以外の高校へ通り子がたくさんいます。それぞれが「学びたい事、やりたい部活など」を選んで高校を決めています。それが、美瑛高にはなかったという事だと思っております。美瑛町民として、美瑛高生と同等の支援があるべきなのです。
3 事業の実施期間	高校生の間
4 事業の実施場所	
5 事業の予算額	美瑛高に通り 美瑛町民の高校生と同等の支援
6 事業の内容	美瑛町民の高校生 対象 入学金、授業料、制服代、修学旅行費、 通学定期代、各種検定料、受験費用、等。  各学校、利用する駅等でそれぞれが、必要となる額の支援
7 事業の効果	。高校生が、親の負担等を考える事なく、自分の本当に行きたい学校を選ぶ事ができるようになる。 。「お金がわからないから美瑛高」という選択のされ方ではない、本当の魅力により選ばれる高校が試される。 。美瑛町民の高校生を持つ家庭の不平等感がたふたふ減る。

# 町民まちづくり提案書 43

令和元年10月31日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所  
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	家庭で育児・子育てをしている世帯への支援
2 提案の理由	幼児教育・保育の無償化がスタートしました。幼稚園や保育園等を利用する家庭は、恩恵を受けることができますが、家庭で育児・子育てをしている世帯は、全く関係がありません。子育てを自分でしている親は幼稚園・保育園の職員のように給料は出ませんし、勤めにも行っていないので収入もない中、考えを拜って家庭で過ごすことを望んでいるので。
3 事業の実施期間	0歳から12歳(小学校卒業まで)
4 事業の実施場所	
5 事業の予算額	保育園・学童保育の保育料と同額
6 事業の内容	支援を希望する家庭に希望する理由や、保育園や幼稚園、学童保育所を利用しない理由、どのように子どもと過ごしているか、子どもを育てたいかなどの調査書類を提出してもらう。 年に何回か、保健師さんに家庭訪問してもらう。現状確認を行なう。
7 事業の効果	子育て世帯に平等に幼児教育・保育の支援ができるようになります。

# 町民まちづくり提案書 44

令和元年10月31日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所  
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	町民の提案を実現させるための係
2 提案の理由	今回のように期限をつくらせて町民からまちづくりの提案書を出してもらうのも大事な事だとは思いますが、日頃から受付窓口があり、提案についての内容や予算等を提案を出した町民ときちんと打ち合わせをして考えてくれる係が専門にいてくれるよう実現に近付くと思っております。
3 事業の実施期間	通年
4 事業の実施場所	政策調整課内
5 事業の予算額	役場職員が担うので 特になし
6 事業の内容	町民のまちづくりについての提案を提案者と検討 提案事業の内容について 予算について
7 事業の効果	町民の提案がより実現しやすくなる。

# 町民まちづくり提案書 45

令和元年10月3日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所  
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	小規模農業の推進
2 提案の理由	近年、どんどん大規模化される農業です。機械も大きく高価、畑も一枚が広く、パーツワーク様様が大柄。農家の戸数が少なくなってしまう現状もどうにかするためにも、小規模の農業も大事にすべき。
3 事業の実施期間	
4 事業の実施場所	
5 事業の予算額	
6 事業の内容	無農薬や自然栽培、有機栽培等、大規模で行なうには向かない農業もあるので、小規模(個人単位)で行なう農業を推進。 新規で農業を始めた人も大きな高価な機械がなくてもできる規模、又、高齢になった農家さんが畑作(いも、ビート、麦等)はできないけれど野菜類を多種作り、販売できる農業等も推進。
7 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農家の戸数が増える。</li> <li>○農家になるための敷居が低くなる。(資金が少なくてすむから)</li> <li>○環境にやさしい農業が増える。</li> <li>○付加価値のある作物が増える。(例えば、珍しい野菜や果実、無農薬・有機栽培)</li> </ul>